

第2学年国語科学習指導案

指導者 三豊市立高瀬中学校 白川 健太

1 単元名

「勇者とは思えない男」

太宰治「走れメロス」 (新しい国語2 東京書籍)

高芝昌子「コミック版 走れメロス」 (ホーム社)

2 単元について

(1) 「走れメロス(太宰治)」は、正義の心に燃える牧人メロスが、人間不信に陥った暴君ディオニスを改心させるまでを描いている。竹馬の友であるセリヌンティウスとの約束を守るために、幾多の苦難を乗り越えることで、メロスは勇者と呼ばれるようになる。一読すると英雄譚のように思える作品だが、メロスの人物像は勇者からほど遠く描かれている。老爺から無理矢理話を聞き出す乱暴さや自分の都合で妹の結婚式を早める身勝手さは、暴君そのものである。矛盾だらけではあるが、命をかけて自分の信念を貫き通そうとする、ある意味で人間らしいメロスだからこそ、我々は親しみを覚え、共感するのである。今日まで読み継がれてきた「走れメロス」が、単なる英雄譚にとどまらないのは、太宰治の緻密な人物設定によるものが大きい。

生徒は、メロスをはじめとする登場人物の描写に着目して作品を読むことで、作者の意図的な「人物設定」と、その人物設定を生かしている作品の「構造」を学ぶことができる。この活動は学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕における「C 読むこと」の指導事項「ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えること」と関連する。何気ない人物描写の一つ一つが、作者の明確な意図のもと描かれ、作品を形成しているのだと気づくことで、言葉にこだわって文学作品を読もうとする意欲につながるであろう。

(2) 生徒たちは前年度、「さんちき」や「少年の日の思い出」において、登場人物の人物描写を捉え、吟味する学習を行っている。「ごんぎつね」における探究的な学習では、約67%の生徒が人物像に着目し、作品の読みを深めていった。それぞれの人物像を比較して考えることはできるが、人物像を設定した筆者の意図まで考えを深めることはできていない。

学年末に実施したアンケートでは、9割ほどの生徒が、「国語科の授業が好きだ」と回答しており、「文学作品を深く読み取ること」「友人と意見交流をしながら考えを深めていくこと」が国語科の楽しさにつながっていると回答した生徒が多かった。また、印象に残った授業としては、活用教材である「透明人間」や「ごんぎつね」が7割を占め、学んだ見方や考え方で教科書外の作品を読む活動に関心を抱いている生徒が多い。一方で、教科書作品には抵抗を示す生徒もおり、特に文章量の多い文学作品に対して苦手意識を抱いている。本単元においては、文章量の多い「走れメロス」を意欲的に読み深めていくための手立てが必要である。

(3) 以上を踏まえ、次の点に留意して指導する。

○ **漫画版「走れメロス」を用いた比較読みの設定**

生徒が意欲的に「走れメロス」を読んでいくための手立てとして、漫画版の「走れメロス」を用いた比較読みを核として授業を構想する。漫画版では原作と違い、美化されたメロスが描かれており、原作の粗暴な面やのんきな面は描かれない。セリヌンティウスとの前日譚も描かれ、原作の展開の早さが解消されている。生徒は、原作と漫画を比較することにより、メロスの人物像のズレに着目することができ、作者が設定したメロスの違和感に気づくことができる。また、漫画という慣れ親しんだ媒体から授業を展開することによって、文章量の多い文学作品に対する抵抗を減らせるであろう。

○ **「人物設定」と「主題」を深める単元構成**

主題発見の技術として、「中心事件を介した主人公の精神的成熟」を読み解いていく指導がある。「走れメロス」においても、困難を乗り越え人を信じることができないディオニスを改心させるメロスの姿から、「信実」や「友情」といった主題で捉えることが多い。しかし、メロスの「人物設定」を細やかに分析していくことで、作者はメロスの「自己変革」を強調していることに気づくことができる。主題を発見するためには、主人公はもちろん、その他の登場人物の人物設定を考えなければ浅い読みに終わってしまう。

本単元では、まず漫画版の作者である高芝昌子が、「走れメロス」で描いた主題をセリヌンティウスとディオニスの描写から考える。同じ「走れメロス」という作品、メロスという人物が主人公である作品であっても、展開の描き方や登場人物の描き方によって、作者が伝えようとする主題が違っていることに気づかせる。そこで身につけた「人物設定」の分析や「主題」の読み深めを、原作の「走れメロス」で挑戦する単元構成とした。これまで習ってきた「人物設定」や「主題」といった見方をより深化させていきたい。

○ **思考ツールの活用による対話の活性化**

対話を活性化させるために、心情円盤を用いた討論の時間を設定する。心情円盤は主に道徳の時間に用いられ、登場人物や自分の気持ちを割合にして示すものである。自分や相手の立場がはっきりと分かる上に、二択では表現できない曖昧な部分を示すことができる。本単元では、原作と漫画版におけるメロスの違いを、心情円盤で表現させることで対話の糸口としたい。自分と友人の意見の違い、原作と漫画版のメロスの違い、この二つの違いを可視化する。そこから生じる対話によって、太宰治が意図的な人物設定をしていることに気づかせたい。

3 単元の目標

(1) 行動描写や心情描写等に着目し、登場人物の人物像を理解できる。

[知識及び技能] (2) ア

(2) 原作と漫画版との違いから、それぞれの作者の人物設定を明らかにし、作品を考察することができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) ア

(3) 積極的に原作や漫画版の「走れメロス」を読み、その違いから筆者の意図に迫るとともに、それに対する自分の考えをノートにまとめることができる。

[学びに向かう力、人間性等]

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①行動描写や心情描写等を本文から抜き出し、その描写を元に、メロスの人物像を理解している。 ((2)ア)	①原作と漫画版との違いから、それぞれの作品の人物設定について考察し、作品について意見文を書いている。 (C(1)ア)	①積極的に原作や漫画版の「走れメロス」を読み、学習課題に沿って考えたことを発表したり、ノートにまとめたりしようとしている。

5 単元の学習指導計画(全8時間)

時	目 標	学習内容・学習活動	評価規準・評価方法等
1	・「走れメロス」の原作を読み、分からない語句を確認するとともに、初読の感想を書くことができる。	・本文を通読し、内容を理解する。 ・初読の感想を書く。	[主体的に学習に取り組む態度] ① <u>ノート</u> ・既習の見方・考え方を用いて、初読の感想を書こうとしている。
2 ・ 3 (習得)	・原作と漫画版を読み比べ、人物設定の観点から、その違いを見つけることができる。	・原作と漫画版を比較する。 ・両作品の違いを見つける。 ・見つけた違いを人物ごとに分類する。	[知識・技能] ① <u>ノート・ワークシート</u> ・人物描写を根拠に、それぞれの人物像を捉えられている。
4 ・ 5 (習得)	・セリヌンティウスやディオニスの描写を比較し、高芝昌子が描いているテーマを検討することができる。	・二人の人物について、高芝昌子の人物設定を考察する。 ・二人が詳しく描かれることで、作品の印象がどのように変わっているかを考える。	[知識・技能] ① [思考・判断・表現] ① <u>ノート・ワークシート</u> ・両作品の人物設定を理解し、その違いから漫画版の主題を考察できている。
6 ・ 7 本時 (活用)	・メロスの描写を比較し、太宰治が描いているテーマを検討することができる。	・それぞれの作品におけるメロスの人物設定を比較する。 ・太宰治の人物設定を考える。 ・考察したテーマをもとに、それぞれの結末部分を吟味する。	[知識・技能] ① [思考・判断・表現] ① <u>ノート・ワークシート</u> ・両作品の人物設定を理解し、その違いから原作の主題を考察できている。
8 (活用)	・人物設定における両作者の意図を明らかにし、作品を考察することができる。	・課題について意見文を書き、学習の振り返りを行う。	[主体的に学習に取り組む態度] ① <u>ノート・ワークシート</u> ・人物設定に注目して読むことによさに気づき、課題についての自分の考えを意見文にまとめようとしている。

6 本時の学習活動

(1) 目標

- ・それぞれの作品の人物描写からメロスの人物像を理解することができる。
- ・原作と漫画版のメロスの人物像を比較する中で、人物設定における作者の意図を考察することができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援・評価
1 教科書を音読する。(班) (p163.3～p164.15)		<ul style="list-style-type: none"> ・対話しやすい雰囲気を作るため、班内で音読させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>二人のメロスは同一人物であるか。</p> </div>		
<p>2 原作と漫画版のメロスについて考える。</p> <p>(1) メロスの描写を参考に、メロスの違い度合いを示し、その理由を考える。 (個人→全体)</p> <p>(2) メロスが悪夢から覚め、走り出すシーンの描写に注目し、原作のメロスが何のために走っているか考える。 (個人→班→全体)</p>	<p>【同一人物である】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的に困難を乗り越え、ディオニスを改心させたから、二人は同一人物だと考えられる。 <p>【同一人物ではない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画版のメロスは、前半部分も人助けのために行動しているし、まさに善人である。 ・漫画版は「友が待っている」とあるが、原作は「なんだか、もっと恐ろしく大きいもののために走っている」と語っている。 ・原作のメロスは、「人の命も問題ではない」と言っている。自分のために走っているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒それぞれの立場の違いや、原作と漫画版の違いを可視化するために、心情円を用いる。 ・発表している生徒の心情円を、黒板に大きく示すことで、聞き手が自分の意見と比べながら聞けるようにする。 ・「もしセリヌンティウスがすでに処刑されたと聞いたなら、二人のメロスはどうか」と追発問をし、原作と漫画版の違いをさらに考えさせる。
<p>3 人物設定における太宰治の意図を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫画版の主題と比較し、考察する。 (個人→全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高芝昌子の「走れメロス」は友情がテーマだったから、善人のように描かれているメロスが合っている。 ・太宰治はメロスばかり描いている。メロスの「成長」を描きたかったから、あえてメロスを悪く書いていたのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの意見文に、人物設定における作者の意図について、漫画版との違いを明確にしながら記入できているかを評価する。(Bと判断する状況) ・Cと判断する状況の生徒に対しては、メロスのセリフに再度着目させ、原作で「友情」以外の主題が描かれていることに気づかせる。
4 本時の学習を振り返る。		